

平成31年度予算について

平成 31 年度予算は、地方公会計制度における PDCA サイクルが 2 周して編成する予算であり、財務諸表の経年比較から得られる情報を活用し、各部・課のマネジメントを一層強化し、中・長期的な視点に立ち、職員一人ひとりがコスト意識を持って、必要性や有効性の薄れている事業を見直し、限られた財源を有効に使うことを念頭に編成しました。

一般会計の予算規模は 250 億 8 千万円となり、前年度比で 6 億 8 千万円、2.8% の増で、過去最大規模です。

市税が大きく伸びない中、平成 30 年度に引き続き、財源不足の状況は変わっていませんので、臨時財政対策債の借り入れを 5 億円、また、財政調整基金からの繰り入れを 4 億円とし、財源調整をしました。

今後、老朽化した施設の更新等、多くの財源が必要となります。このような中で、市民サービス向上に向けての施策を行うには、歳入の確保、さらなる経費節減が必要不可欠ですので、健全な財政運営に向けて、着実に取り組んでいく所存です。

横田基地について

2018 年 10 月 1 日に 5 機の CV-22 オスプレイが正式配備となりました。

さらに、米側によると、残り 5 機の CV-22 オスプレイを、2024 年ごろまでに配備する予定とのことです。

オスプレイの配備といった横田基地の様相の変化は、市民生活に大きな影響を及ぼすことから、市民の安全安心を最優先事項として、今後も引き続き国や米軍に対して粘り強く要請を行っていくとともに、東京都や横田基地周辺の 5 市 1 町でも十分に連携を図りながら、この問題に取り組みます。

各部の取組について

予算編成の方針のもと、平成 31 年度もさまざまな事業に取り組めますが、「重要施策」以外の取組について、主なものを予算説明書の順に従い、各部ごとに述べさせていただきます。

企画財政部

これからの多文化共生施策の検討材料とするため、多文化共生に関するアンケート調査を行います。

また、多摩産材利用等の資金に充当するため、基金を設置し、森林環境譲与税を積立てます。

総務部

2020 年に福生市が市制 50 年を迎えることから、記念式典を行うに当たり、債務負担行為を設定して、運営支援委託契約を結び、その準備に万全を期します。

また、災害時に医療救護所で使用する医薬品の備蓄について、調達およびその後の更新等を含む管理を委託し、災害時における応急医療体制の強化を図ります。

市民部

第 2 期福生市国民健康保険データヘルズ計画に基づき、糖尿病性腎症重症化予防指導事業に取り組み、重症化を予防し、医療費の抑制につなげます。

生活環境部

「クビアカツヤカミキリ」の駆除対策を講じ、樹木の保全に努めます。また、リサイクルセンターの基幹的設備が経年により性能低下や磨耗が進行していることから、長寿命化総合計画の策定および当該設備の改良工事を行い、施設の維持を図り、安定的な運営に努めます。



リサイクルセンター

福祉保健部

生活困窮者に対する包括的な支援を行う自立相談支援事業について、生活困窮者自立支援法の理念に即した支援を行うことができる法人等へ委託し、支援の充実とともに、継続的な相談支援体制を確保します。また、休日診療事業は、福生市医師会の負担を考慮し、福生市医師会への全面委託から市が事業運営全般を行う事業形態に変更します。

そして、乳幼児健康診査事業として、新たに、新生児あるいは乳児が都内の指定医療機関等で聴覚検査を受けた際の費用の一部を市が負担することで、聴覚検査の受診を促し、難聴の早期発見、適切な治療や支援につなげます。

子ども家庭部

学童クラブを新設するほか、学童クラブを利用する医療的ケアを必要とする児童に対して、介助等を行う看護師を派遣することにより、育成環境の向上を図ります。

都市建設部

福生都市計画道路 3・3・30 号武蔵野工業線、いわゆる産業道路と、3・4・2 号志茂中央線、多摩橋通りの整備に伴い、用途地域の変更を前提とした地区計画を策定します。

また、近年増加している空き家や空き地等に関する課題に対応するため、空き家等対策計画の策定にも着手します。

そして、下の川緑地せせらぎ遊歩道公園の一部に、法面の崩壊や土砂崩れの危険性があるため、地質調査、測量を実施し、工事の工法等を検討するとともに、ほたる公園の東側の斜面についても、法面の点検を行います。



せせらぎ遊歩道公園

さらに、日光橋公園およびみずくらいど公園について、公園内に管理用車両が入れる園路等を整備するため、自然環境調査、土壌調査および実施設計を行い、工事の工法等を検討します。

教育部

市内中学校における特別支援教室の設置準備や校内 LAN 整備のほか、ふっさっ子の広場事業の委託化など、改善事業が多数あります。

結びに

平成 31 年度は、第 4 期総合計画の計画期間の最終年度となります。この 10 年間の総括とともに、その後の 10 年先の福生市を見据えた新たな総合計画を策定していくこととなります。

また、福生市の将来を左右する福生駅西口地区市街地再開発事業もいよいよ本格化します。この事業をはじめ、これから福生市が直面する行政課題は多岐に渡りますが、正面から対峙し、しっかりと取り組んでいかなければなりません。

来年、2020 年は、オリンピック・パラリンピックの開催、また、市制施行 50 周年、福生七夕まつりが第 70 回となる大きな節目の年となります。市民の皆様とともに、この記念すべき年を楽しむことができるよう、また、市民の皆様の心に残せるよう、その準備に万全を期す所存です。

熱意をもって仕事に取り組むこと、すなわち、挑戦することで、福生市の明るい未来が見えてくると信じていますので、これからも市民満足度を少しでも高められるよう、私をはじめ、職員一人一人が全力を挙げて事に当たることをお誓い申し上げます。